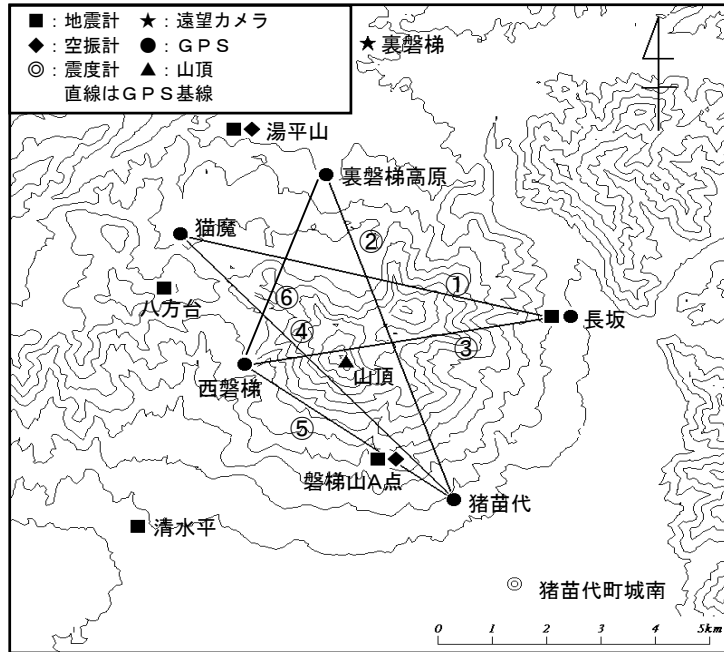


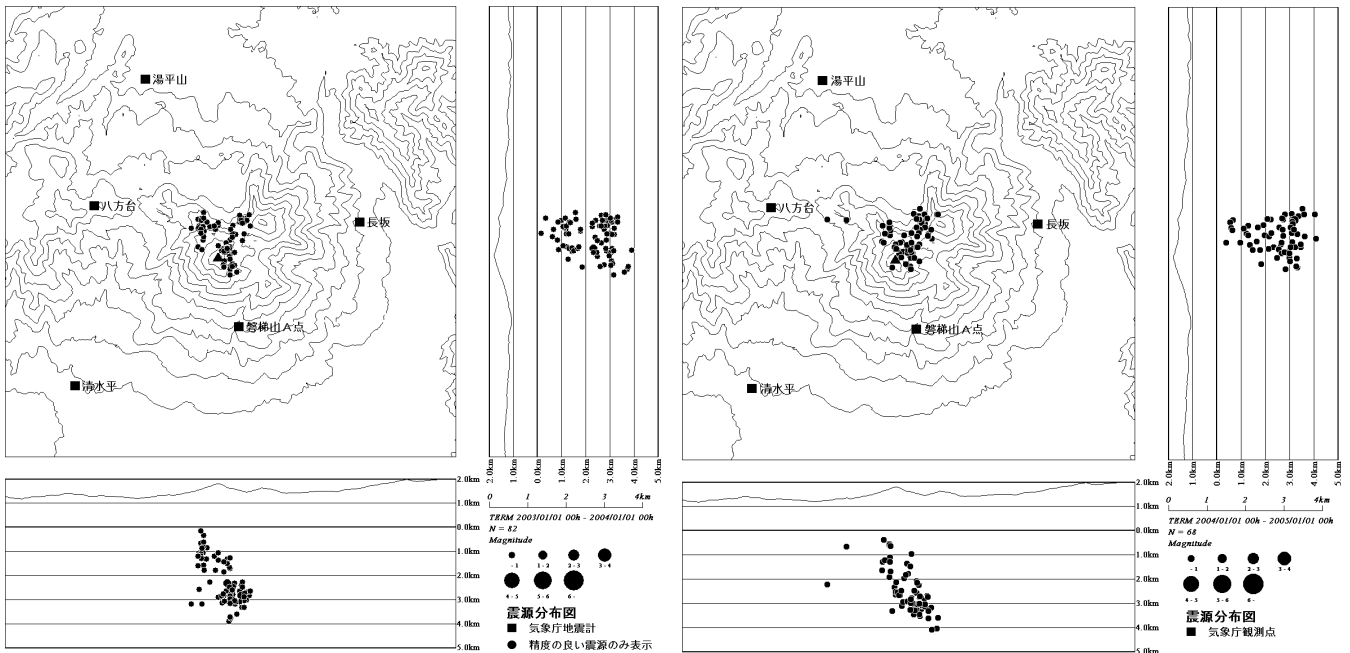
磐梯山

○概況

9月上旬に一時火山性地震が増加したものの、火山活動は穏やかに経過しました。山体北側火口壁の噴気は、一時150mの高さを観測しましたが、大きな変化はみられませんでした。



磐梯山火山観測点配置図

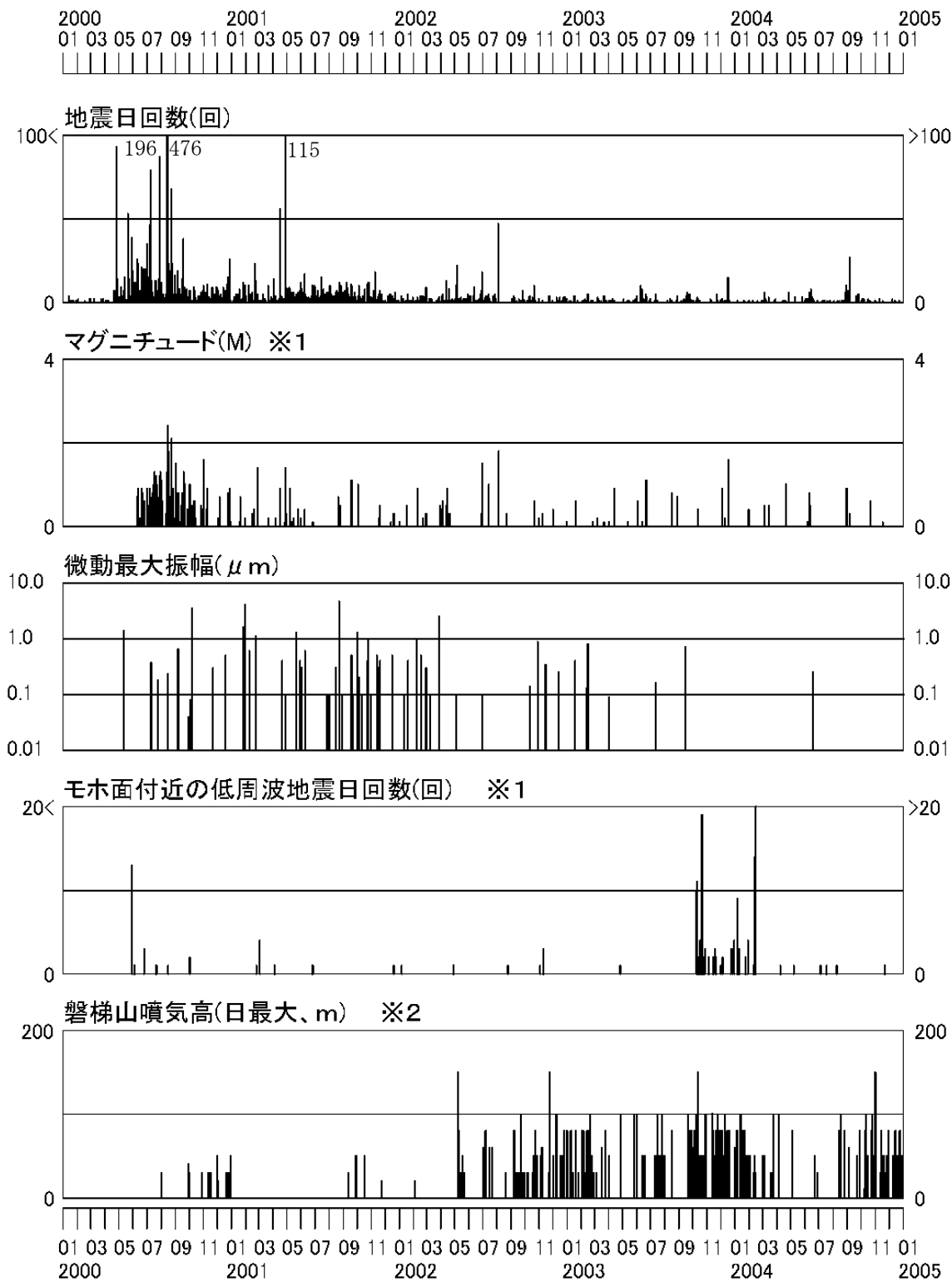


磐梯山震源分布図
(2003. 1. 1～2003. 12. 31)

磐梯山震源分布図
(2004. 1. 1～2004. 12. 31)

磐梯山 活動一覽

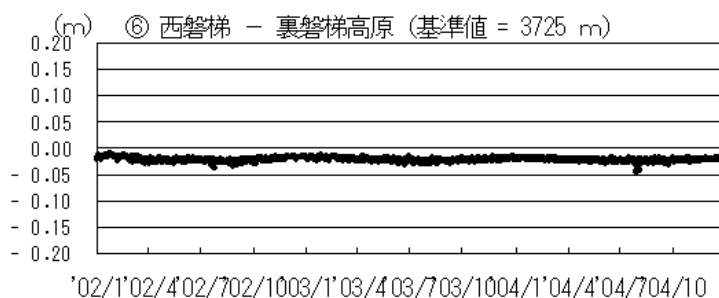
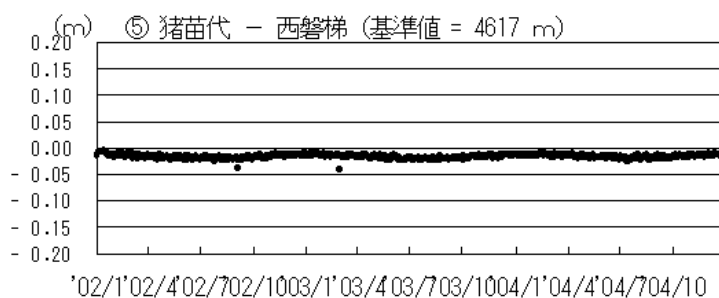
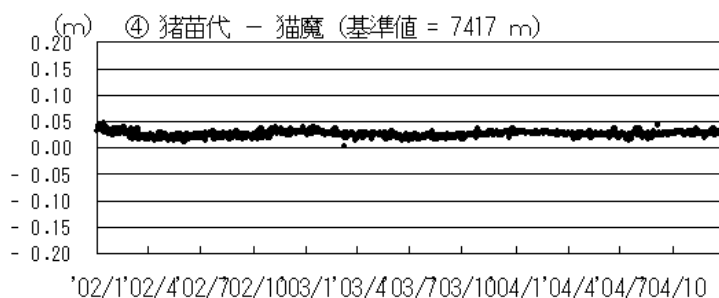
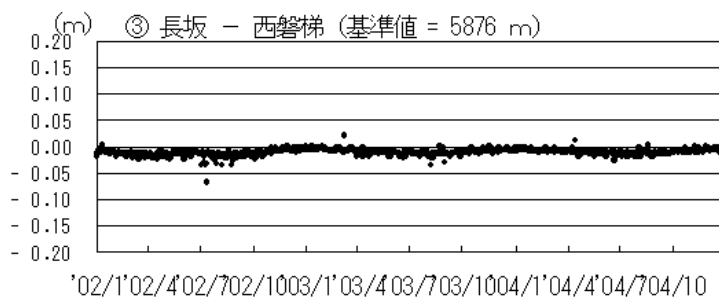
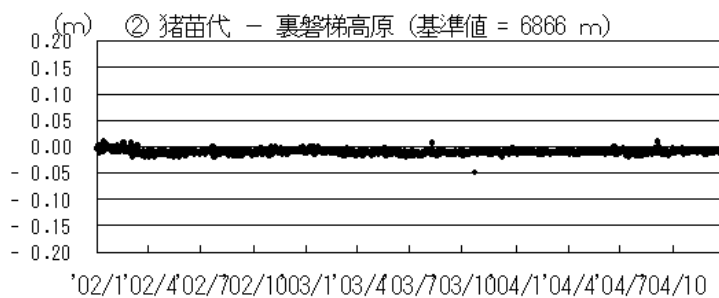
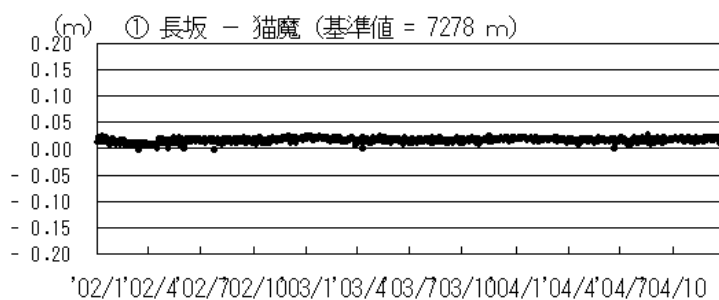
2000/01/01~2004/12/31



※1 東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。

※2 2002年2月以前は定時及び随時観測データ。

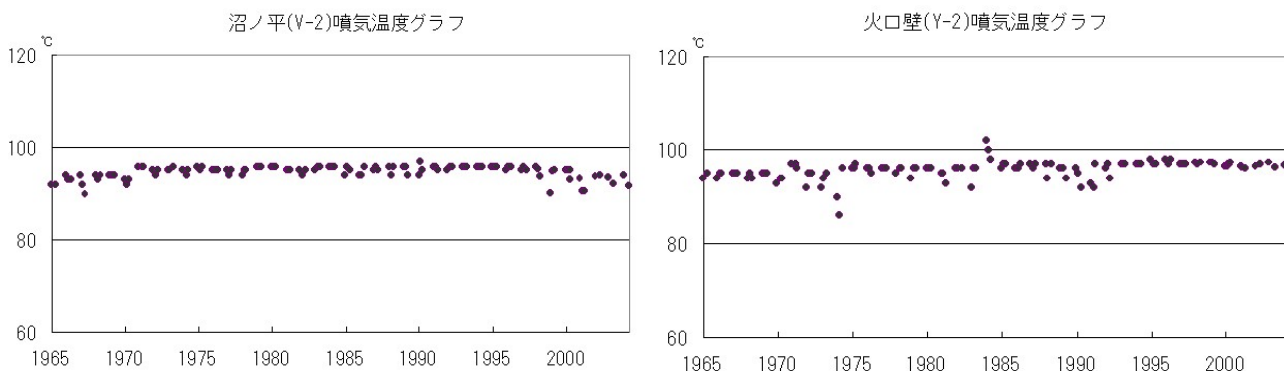
2002年3月以後は収録データにより全時間を精査。



G P S 基線長変化図 (2002. 1~2004. 12. 31)

磐梯山 現地観測の状況

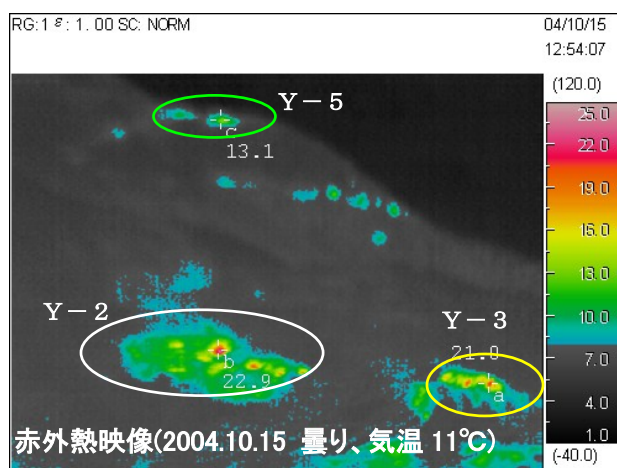
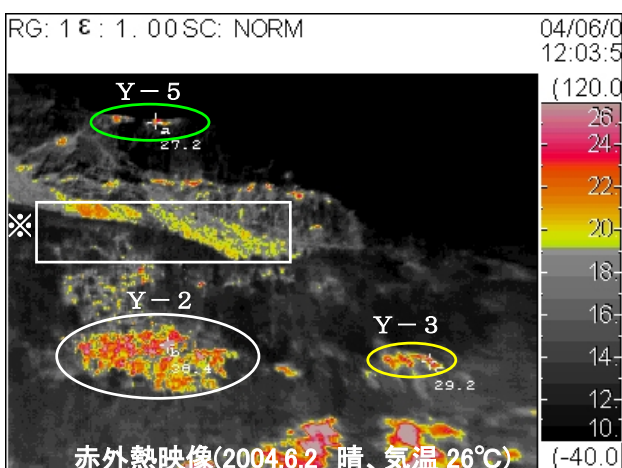
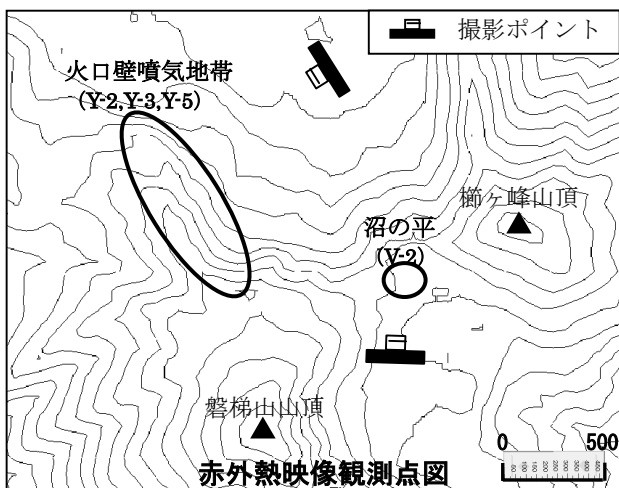
現地観測を10月13日から15日に実施し、赤外熱映像観測、噴気、地中温度観測を行いました。前回(6月2日)の観測結果と比較して、火口壁北側の噴気地熱地帯の状態に変化はなく、その他の異常も見られませんでした。



沼ノ平 (V-2) と火口壁 (Y-2) の噴気温度変化

(データ期間：1965年7月～2004年10月)

※沼ノ平 (V-2) 及び火口壁 (Y-2) の噴気温度は、1965年7月の観測開始以降、ほぼ一定しています。



火口壁噴気地帯 (Y-2, 3, 5) の可視画像と赤外熱映像解析図

(左下:今年6月2日、右下:今年10月15日)

※今年6月の赤外熱映像解析図に示された四角の部分は日射の影響によるものです。この部分を除くと、今回(10月15日)の解析結果と比較して地熱地帯の面積に変化はありません。